

Q 登山道や池の周りの管理や日常的な点検はどのようにしているか。

A 業務委託や修繕工事をする際などに現場を確認点検している。定期パトロールとして2カ月に1回は職員が山頂まで登りながら登山ルート上の倒木や枯れた木の有無の確認等を行っているが広大な森林のため目の届かない部分もあり、登山者や市

Q 森林環境譲与税による事業の現状は。

A 令和元年から3年にかけて鐘撞堂山の登山道の笹刈りや駐車場等の除草業務委託を実施するほか、霧ヶ谷津池の周辺に設置されている老朽化した木柵の一部、合計375メートルの修繕工事を実施した。森林環境譲与税は使途が森林の整備や木材利用の促進等に関する費用と定められているので、その目的にあった事業に活用していきたい。



いちろう もてぎ 木 茂



映像はこちらから

Q

鐘撞堂山の森林環境譲与税による事業の現状は

A 目的にあった事業を実施している

Q 民からの通報をもとに対応している。

A 「鐘撞堂山ふるさとの森」観光マップでは深谷市の部分だけが記載されているため寄居町、美里町を含めた山全体の情報等が少し見にくいので改善できないか。

Q 山頂が寄居町との行政境であるため深谷市内からの状況がメインとなっている。今年度のマップ更新に当たって寄居町と調整し、双方の市町の登山ルートや公共施設を配置した。広域的な観光マップについては埼玉県に相談したいと考えている。



（ふかや市議会だより）は、CD版を発行しています。送付を希望される方は市社会福祉協議会（TEL573-65003）へご連絡ください。

Q

公益通報（内部告発）制度は機能しているか

A 複数の通報があるので機能していると考ええる

政監察員を外部の弁護士にしている。継続的に制度の周知を図り、透明で公正な市政運営を行うよう努める。



ひろし おくamura 村 川 徳 浩



映像はこちらから

Q 生活保護費の不正受給をきっかけに始まった、公益通報（内部告発）制度の運用状況を教えてください。

A 平成21年に、深谷市職員等公益通報条例が施行され、現在まで5件の通報があった。そのうち2件が受理され、是正措置を講じた。

Q 公益通報制度は機能しているか。

A 深谷市では通報先が、外部の弁護士となっているため通報しやすくなっている。複数の通報もあるため機能していると考ええる。

Q ホームページの市長への手紙に、地方議員の口利き記録制度導入についての要望があった。自治体の職員が、議員の優越的立場による強い要望により、困惑している事に触れていたことから市役所職員からの手紙と思われる。深谷市には、不都合な事実を隠す体質があるのではないか。

A 隠ぺい体質を無くすために、行

Q 報告書の閲覧という形で市長の資産公開が行われているが、秘書室まで来て閲覧した人はいるのか。

A 過去5年間で一度もないが、平成27年には2件あった。

Q ネガティブな噂が立たないように、ホームページで資産公開しているか。

A 多くの自治体と同様の資産公開制度であり、だれでも簡単に閲覧できるため、その考えはない。



Q

田谷の一本木を道路が回り込んだ経緯は

A 航空写真では昭和44年に現状通りだが理由は不明

街地のランドマークとして、市民に活用してほしい。



まこと しばやし 小 林 眞



映像はこちらから

Q 一本木を残して50年以上守ってきたのは、深谷市民のおおらかさだろうか。その安全・保全是。

A 矢印板や反射板で注意を引き、万一の衝突に備え緩衝材のタイヤを設置。平成30年度には電線や通行に差し支えないように剪定し、植栽帯は自治会の協力で保全している。

Q 中央土地区画整理事業

Q 事業全体の進捗状況は。

A 平成10年度から事業を開始し、令和3年度末で進捗率35・5%を見込んでいる。

Q レンガ通りにレンガが敷設され経緯と今後の活用は。

A 平成10年度決定の事業計画で、レンガ舗装としている。令和2年8月に地元説明会を行い、透水性レンガを自動車の乗り入れを考慮した網代貼りにて敷設した。今後は中心市



田谷の一本木と七ツ梅酒造跡

Q

周辺他市と比べて5級以上の割合が低いのが適切か

A 必要な人員配置を行っており良好な状態である



よしのり ただ 角 田 義 徳



映像はこちらから

Q 職員人事制度について、近年の係長職昇任試験、管理職昇任試験の合格者数と合格率の推移を知りたい。

A 過去5年の実施状況だが、係長職昇任試験については平成29年度が18名、23・7%、平成30年度が12名、19・4%、令和元年度が13名、20・6%、令和2年度が12名、17・9%、令和3年度が9名、14・3%である。管理職昇任試験については平成29年度が12名、13%、平成30年度が6名、6・3%、令和元年度が6名、7%、令和2年度が6名、6・2%、令和3年度が4名、4・3%である。

Q 年度ごとの合格者数で差があることによる職員のモチベーション維持をどのように考えているか。

A 昇任によってモチベーションが向上する部分もあるが、職員は昇任のみを目的にしているのではなく、日々、市のため、市民のためにやり

がいを持って業務に従事していると考えている。今後とも、研修を実施する等、全ての職員がモチベーションを高く持って業務に取り組めるようしていきたい。

●ゼロカーボンシティふかやについて

Q 環境に配慮した車両（公用車）の今後の導入計画について聞きたい。

A 今後更新する公用車は環境に配慮したものにしていく必要があると認識している。まずは、使用時間や使用距離など全体の稼働状況を調査し、適正な公用車台数を把握した後、導入方法やスケジュールを検討する。

埼玉県市議会議員会第三区議員会構成市の職員級別比較表(令和3年4月1日現在)

職級	【深谷市】		【本庄市】		【狭父市】		【熊谷市】	
	職員数	構成比	職員数	構成比	職員数	構成比	職員数	構成比
1級 主幹・技師	63	5.9%	34	5.9%	50	9.3%	55	4.7%
2級 主幹・技師	161	15.2%	122	21.3%	80	14.8%	190	16.3%
3級 主任	266	27.9%	146	25.5%	98	18.2%	266	24.6%
4級 係長・主査	308	29.0%	110	19.2%	118	21.9%	275	23.7%
5級 課長補佐・主幹	129	12.1%	94	16.4%	72	13.5%	137	11.8%
6級 課長	59	5.6%	51	8.9%	71	13.2%	112	9.6%
7級 次長	28	2.6%	5	0.9%	34	6.3%	65	5.6%
8級 部長	18	1.7%	10	1.7%	16	3.0%	23	2.0%
計	1062	100%	572	100%	538	100%	1163	100%

※新しいラインは昇任試験
5級以上の割合 22.0% 28.0% 35.7%